

HSK

わだち

全国筋無力症友の会北海道支部ニュース

昭和 48 年 1 月 13 日 第三種郵便物認可

HSK 通巻番号 第 519 号

発行 平成 27 年 6 月 10 日 発行 (毎月 10 日)

編集人

〒064-8506 札幌市中央区南 4 条西 10 丁目

北海道難病センター内

わだち 175 号

全国筋無力症友の会北海道支部

TEL 011-512-3233 FAX 011-512-4807

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会

(HSK)

定価 100 円 (会費に含まれます)



	もくじ	
はじめに	古瀬剛充	1 ページ
支部総会		2～11 ページ
総会返信はがきより		12～14 ページ
ご冥福をお祈りします		15～16 ページ
支部総会に参加して		17 ページ
つぶやき		18～19 ページ



はじめに

新支部長になりました、古瀬 剛充（ふるせ たけみつ）です。

この度、全国筋無力症友の会北海道支部の支部長という大役をやることとなりました。前年まで運営委員の一人でしたが、会の内容について詳しいことはほとんど判らないので、定年退職して時間の余裕ができる来年4月以降にしてほしいとお願いしていましたが、前支部長が事務局長として実務をできるだけ引き続きやってくれるということで、やむを得ず承諾しました。

現在、登別市に単身赴任しており、基本的に週末は自宅のある札幌に帰省しますが、職務上、交替で行っている週末の防災当番や大雨等の場合は緊急時の対応をするため、札幌には戻れないことが多々あります。そのため、会の仕事について充分なことができないかと思っておりますので、ご理解願います。

次に、私の病気について説明しますと、6年前の平成21年7月に発病し、複視から始まったため、最初は眼科にいきました。しかし個人病院では分からず、1ヶ月後に札幌医大を紹介され色々な検査を受けた結果、MGと判定され、ステロイドの点滴などの治療が始まりましたが、すぐに全身型に進行した

ため、9月中旬に胸腺摘出の内視鏡による手術を受けました。その結果、病状が回復し、10月初めには職場に復帰できました。きっと、早期に病名が判明し、早期に治療を受けた事が早期回復につながったと思います。

最近では、強いMG症状は出ないようにりましたが、昨年12月29日インフルエンザに感染してしまいました。発熱が37度5分までしか出ていなかったため、病院に行くまで、すっかり自分は風邪だと思い込んでいましたが、検査結果はインフルエンザA型でした。インフル用の点滴による治療を受け、まだ5日間は菌が出ると言われてため、マスクを付け自宅で休養せざるを得ないことになってしまいました。

31日の年越しも早く就寝し、神社参拝もできない等、寂しい正月となりました。

その後も、体がだるい等、体調がなかなか元に戻らず、単身赴任先の登別の個人病院にいき診察を受け、その結果、インフルは治っているがステロイド系の薬を服用しているため、免疫力が低下しているので完治する前に風邪をひいてしまい長引いていると診断されました。この病気になって、風邪対策として、気を付けて手洗い・うがいをするようにしていたのですが、発症して5年が過ぎ、ついつい気が緩んでいたかもしれません。

最後に、会員皆様方の病状回復を祈念して、私からの挨拶とさせていただきます。

全国筋無力症友の会北海道支部

2015 年度第 44 回支部定期総会

2015 年 5 月 10 日

於 北海道難病センター

プログラム

- 1 受付 9 : 30
- 2 総会 2015 年 5 月 10 日 10 : 00 ~ 11 : 30

物故者への黙祷

- ① 支部長挨拶
- ② 来賓挨拶 財団法人北海道難病連

議長選出

- ③ 議事
 - i 2014 年度活動報告
 - ii // 決算報告
 - iii // 監査報告
 - iv 2015 年度活動方針
 - v // 予算
 - vi 役員改選
 - vii その他

2014年の活動を振り返って

○2013年から施行された障害者総合支援法について会員患者に知ってもらい取り組みは引き続き行ってきた。

難病連主催の学習懇談会では、障害者総合支援法で支援を受けようとしたが市役所の窓口の対応で受けられなかった体験、また支援法で実際に家に手すりやベットが使用出来た体験などの発表をしました。

○6月に神奈川県横浜市で開催された全国フォーラムと総会に参加し、全国の仲間と交流を深めた。

また、全国ニュース「舩」の編集と発送作業をしました。

○2014年もMGサロンを札幌や釧路でも開催し、地域で療養し生活している会員を支えています。

○北海道難病連の活動の中でも理事を務め、また北海道難病連札幌支部の運営委員として他の患者会の方と共に活動しました。

北海道難病連で毎年開催しているチャリティバザーには多くの会員が提供品やバザー当日の手伝いとして売り上げに貢献しています。

2014年度 活動報告

【総会の開催】

4月19日 支部総会

難病センター(15名)

【医療講演会】

8月10日 かでる 2.7

(17名)

「筋無力症の診断と最近の治療」

北海道医療センター 神経内科医長 南 尚哉先生

【役員会】 月1回開催

(各4名)

【機関紙の発行】 4回 「わだち」 No.171～No.174号

【レクレーション・交流会】

毎月1回 MGサロン札幌 計9回開催(12～2月休み)

(6～8名)

毎月1回 MGサロン釧路

(約3名)

【全国筋無力症友の会との関わり】

6月7～8日 全国総会

神奈川(伊藤、東谷、鬼木、大塚、丸田、中村、仲山)

11月15～16日 北海道・東北ブロック交流会

仙台(中村、大塚、鬼木)

4回 全国会運営委員会

(中村)

全国会 会計

(中村)

全国ニュース「舩」(No.30～31) 編集・発行

(中村)

【北海道難病連の加盟団体としての活動】

4月16日	会計監査	(鎌田、下広、中村)
4月23日	難病連学習懇談会	(2名)
5月18日	難病連総会	札幌サンプラザ (中村、和泉、森口、鎌田)
	難病連支部協議会	(中村)
5月25日	JPA 総会・JPA 国会請願署名	(中村、大塚)
8月9日	全道集会・夕食交流会	(12名)
10日	分科会 (医療講演会)	かでの 2・7 (17名)
9月15日	難病連札幌支部 出前歌声喫茶	(2名)
9月27日	JPA 全国一斉街頭署名行動	札幌 (森口、中村)
	国会請願署名 1131筆→150筆	募金 17,600円→21,500円
10月25日	チャリティバザー	(6名)
11月9日	難病・慢性疾患全国フォーラム	東京 (中村)
11月10日	全国難病センター研究会	東京 (中村)
11月22日	札幌地区研修会	(中村)
12月14日	札幌支部 チャリティクリスマスパーティ	(9名)

2015年

3月6日	経理打ち合わせ	(中村)
3月8日	難病連 実務担当者会議	(中村)

札幌支部役員会 (3回)	(中村)
理事会 (11回)	
常任理事会 (4回)	(中村)
活動資金委員会 (3回)	(中村、下広)
合同レク委員会 (2回)	(下広)

【その他の活動】

【会員状況】

- ① 相談件数 (18→20名)
- ② 新入会員 (0名)
- ③ 退会会員 (11→ 5名) 退会希望者 () 死亡 (2) 会費未納 (3)

2014年度 収支決算書

自 2014年 4月 1日
至 2015年 3月 31日

体名全国筋無力症友の会北海道支部

収入の部

科 目	2014年度予算	2014年度決算	備 考
会 費 収 入	405,000	364,500	4500円×67名 24年度分1名 25年度分13名
前受会費収入			
賛助会費収入	20,000	10,000	1口2000円5名
上部団体助成金収入	40,000	40,000	
疾病団体助成金収入	276,000	276,000	道補助金
医療講演会助成金収入	10,000	10,000	
参 加 費 収 入	0	0	
寄 付 金 収 入	100,000	69,000	22名
協力会還元金収入	35,000	38,500	道難病連協力会還元金
募金箱還元金収入	15,000	5,624	道難病連募金箱還元金
署名募金還元金収入	3,000	4,300	JPA国会請願署名募金
販売事業収入	20,000	13,971	正月飾り、ビール券還元金、雑貨還元金
その他事業収入	5,000	2,526	全国総会売上金
受取利息収入	29	38	
雑 収 入	0	0	
難病連事業参加助成金収入			
広告収入	10,000	0	
前 期 繰 越 金	143,471	143,471	
収入合計	1,082,500	977,930	

支出の部

科 目	2014年度予算	2014年度決算	備 考
会 議 費	202,000	80,470	
役員会費	22,000	7,830	交通費、会議室使用料
中央会議費	170,000	64,040	全国総会神奈川、東北ブロック交流会
難病連会議費	10,000	8,600	総会、交流会補助、役員研修会補助
事 業 費	426,000	218,608	
総会・大会費	40,000	22,627	総会会場費、昼食代補助、交通費補助
難病連全道集会	33,000	30,000	分科会 講師料、プロジェクター、祝賀会参加補助
医療講演会	35,000	24,103	演題垂れ幕、会議室使用料
検診相談会			
機関紙・誌費	110,000	59,368	わだち年4回発行費用発送、交通費、印刷費
指導パンフ			
研修会			
レク・交流会費	40,000	21,750	クリスマスパーティ参加補助、MGサロン会議室使用料
実態調査費			
地区育成費	30,000	30,000	釧路、旭川、函館
相談員補助	8,000	0	電話、面談、訪問、メールによる相談
活動費	130,000	30,760	JPA国会請願行動
負 担 金	411,000	384,000	
全国会負担金	270,000	243,000	本部会費3000円×81名分
難病連維持会費	138,000	138,000	
HSK負担金	3,000	3,000	第3種郵便
維 持 運 営 費	43,500	37,126	
事務局費	24,000	24,000	電話代他
事務消耗品費	10,000	9,820	用紙、プリンターインク、帳簿
通信費	4,000	654	郵送料
交通費	2,000	1,140	会計監査
資料費	1,500	0	
雑 費	2,000	1,512	振り込み手数料
積立金支出		150,000	全国総会、ブロック交流会
予 備 費	0	0	
支 出 合 計	1,082,500	870,204	
次 期 繰 越 金	0	107,726	

全国筋無力症友の会北海道支部

2014年度決算報告書

上記の件について厳正なる監査の結果、適正であることを報告します。

2015年4月 16日

会計監査

氏名

下 廣
謙 田

氏名

栄 毅



2015 年度（平成 27 年度）活動方針

○障害者総合支援法を筋無力症の患者に、難病法を知らせる努力をします。

○筋無力症の患者も生活者として地域社会に生きる共生社会になるよう活動します。

○患者団体として根をおろした活動を進めます。

○震災の被害の大きい東北各県の支援と励ましを、今年度も取り組みます。

○MG サロンは今年度も根気強く継続し、多くの人に参加するように工夫します。

○同じ患者家族、思いやりのある活動を進めていきます。

2015 年度 事業計画

5 月 10 日	支部総会	(難病センター)
5 月	難病連総会・支部協議会	
6 月 6～7 日	全国総会	(岩手)
8 月	全道集会・分科会	(札幌)
9 月	JPA 全国一斉街頭署名行動	(札幌)
10 月	難病センターチャリティバザー	(難病センター)
10 月 31～11 月 1 日	東北・北海道ブロック交流会	(函館)
11 月	難病フォーラム	
11 月	全国難病センター研究会	
12 月	難病連札幌支部チャリティクリスマス	(札幌)
2016 年		
1 月	難病連札幌地区役員研修会	(難病センター)
毎月 1 回	役員会	
毎月 1 回	MG サロン 第 2 木曜日 13～15 時 (12～2 月休)	
毎月 1 回	事務作業	
年 4 回	機関紙「わだち」発行	6 月 9 月 12 月 3 月
年 3 回	全国ニュース「舩」発行	9 月 3 月
年 1 回	地区交流会	
月 1 回	釧路連絡会 MG サロン 第 1 水曜日	

2015年度 役員改選

支部長	古瀬 剛充（難病連評議員）
副支部長	
事務局長	中村 待子（機関誌編集委員・全国運営委員・全国会会計・舩編集）
会計	仲山 真由美（機関誌編集委員）
会計監査	鎌田 毅（機関誌編集委員）
	下広 栄
運営委員	伊藤 たてお（JPA参与・全国運営委員）
	猪口 英武（機関誌編集委員）
	東谷 美智（機関誌編集委員）
	竹村 慶子（機関誌編集委員）
	本田 美津子（機関誌編集委員）
	下広 恵美子（難病連活動資金・合同レク・機関誌編集）
	森口 貴美（機関誌編集委員）
	佐野 美智子（機関誌編集委員）
	大塚 郁子（機関誌編集委員）
	鬼木 正人（機関誌編集委員）
	丸田 勢津子（機関誌編集委員）
連絡会	
（旭川地区）	戸田 郁子（難病連旭川支部役員）
	狩野 美幸（難病連旭川支部役員）
（函館地区）	水島 蒼生子（難病連函館支部役員）
（十勝地区）	藤井 政子
（釧根地区）	青田 典子
	橋本 秀子（難病連釧路支部運営委員）
	石井 計子
（空知地区）	林 麗子（空知地区連絡員）

総会返信はがきより

○苫小牧市 板垣和枝さん

やっと春らしくなって喜んだのも束の間、風が強くて一人で歩けません。総会までもう少し筋力アップしたいのですが、、、皆様お元気でお過ごしくださいね。

○北広島市 宮下美枝子さん

お世話になっております。皆様によろしくお伝えください。

○札幌市 佐藤秀則さん

1999年10月に発病し、14年経過しました。昨年12月26日MGが再発し、市立札幌病院に約2週間入院いたしました。今年4月64歳になりましたがサラリーマンを継続しております。初めての総会に出席させていただきます。よろしく願いいたします。

○札幌市 鈴木恵美子さん

めっきり春らしくなってきましたね。皆さんいかがお過ごしでしょうか。私の体調は特に良くなってはいませんが、悪くもなっていませんので総会・サロンに出席させていただきます。皆さんに会えるのを楽しみにしています。

○砂川市 本田美津子さん

いつもお世話になっております。早いものでもう総会の時期なのです。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

○札幌市 古路頼子さん

複視がひどいです。それと指先に力が入らなくなり、雑巾が絞りずらかったり、台所仕事が少し大変になってきました。

○札幌市 森口貴美さん

職場で支援員にして頂いて、毎日多忙ですが、実り多い生活をしています。ご盛會を心から祈念しています。

○旭川市 戸田郁子さん

ご無沙汰しています。昨年4月からおびった内軽食喫茶パストラルで週2回洗い物のお手伝いに行っています。

○旭川市 狩野美幸さん

いつもお世話になっています。体調が悪いので次の機会にします。

○札幌市 矢野久美子さん

昨年6月よりステロイド20ミリグラムで骨折3回、医療センターに6~12月まで入退院を繰り返していました。

○札幌市 坂元由美さん

4月から主治医が他の病院に移りましたが、私が病院を変えない尾であれば、新患として受診することになりました。

○釧路市 青田典子さん

伊藤さんの受賞おめでとうございます。「難病であっても、高齢であっても、障害があっても人間としての尊厳をもって、地域社会で生きていく」と言う患者会の3つ目の役割に少しでも近づけたらと思います。これからの益々のご活躍をお祈り申し上げます。

○札幌市 櫻井彩子さん

おかげ様で安定した生活ができていますが、症状が現れたり年齢的な体調の変化との関連を考えると不安を感じます。

○函館市 水島蒼生子さん

当日はあいにくと他の総会があり筋無力症の方は欠席します。
5月17日函館地区の交流会、5月23日は難病連函館支部の総会、
5月24日は国会請願で東京に行ってきます。
8月の全道集会は行く予定です。皆さんに宜しくお伝えください。

○札幌市 丸田勢津子さん

いつもご苦労様です。先日私は申し込みしましたが、主人も参加するとの事です。よろしくお願ひします。

○札幌市 大沼美恵子さん

ぎっくり腰になりました。口だけは元気です。

○釧路市 橋本秀子さん

就労作業所「さわやか釧路」に通いだして3年。週二回のペースですが、張りとりズムが出てきました。

総会でみなさんにお会いできるのを楽しみにしております。

○岩内町 梁川和巳さん

昨年10月に急に右目が開かなくなり、A市のB病院へ行くと、緊急入院！免疫グロブリンが効かなくなり、ステロイドパルスで復活しました。入院時に「朝鮮」と言ってくる患者がいたので、病院へ人権問題なので法務局へ届けると話をした。担当医が来て「法務局にはいかないでくれ」と言ってきた。「駄目だ」と言うと担当医は強制退院の話をしてきた。

○札幌市 伊藤たておさん

ようやく、少しですが季節を感じる生活になりそうです。

○札幌市 古瀬剛充さん

1月から難病の医療費助成制度が変わり、手続きが複雑になり、困っています。

ご冥福をお祈りします

中道和子さん、あなたを思い出すとき、笑顔と笑い声を思い出します。支部総会で行った虎杖浜の500マイル、楽しそうに歌い踊っている写真があります。おしゃれな方で、ピンクがとても良く似合いました。全国総会でいろいろな所に行きました。病気でこんなに旅行が出来たなんて、毎年毎年出かけました。全国の方と知り合いになり、総会で会うことで元気をもらいました。1997年支部25周年記念で沖縄にも行きました。泡盛を飲み、カチャーシを踊り楽しそうな写真が残っています。また1999年にもがんばれ難病患者日本一周激励マラソンの応援ツアーで沖縄に行きました。揃いのTシャツを着た、にこやかな写真もあります。友の会の記念誌には、和子さんの写真がたくさん載っています。30周年記念号では「発刊にあたって」と和子さんの文章がありますのでご紹介します。

「病気と仲間と家族と共に歩んだ30年」

全国筋無力症友の会北海道支部 支部長 中道和子

1972年春、伊藤たておさんの呼びかけで、札幌近郊の患者家族が一堂に会した4月23日を思い出しました。

30数年前は、この病気の情報もなく、同病者にも会うことも無く、奇病・なまけ病と言われた時代に、患者懇談会が開催されることを楽しみに出かけました。患者の子どもさんがヨチヨチしている中、大人はお互い初対面でしたのに熱心に話し合い北海道にも友の会を作ろうと、全員一致しました。あの時の坊やも、今はもう立派なお父さんになっています。30年とはそういう「としつき」なのですね。

いよいよ1972年7月、伊藤さんご夫妻のご尽力で北海道支部は結成されました。来賓には本部の武田会長をはじめ、大勢のご参加をいただき、患者家族51名の参加者で盛會に発足しました。しかし、当時の患者は自分の体を動かすことも容易でなかった時代でしたから会の仕事は、伊藤夫人のかすみさんが事務局を一手に引き受けてくださいました。

その後、医療の進歩のおかげで、徐々に患者自身が活動できるようになり、発足以来15年にしてやっと軌道にのってきました。それまで友の会を支えてくださっていた、かすみさんもやっと絵をかく時間ができ、本来の画家に戻っていただくことが出来たのです。

友の会の発展は医療関係のみならず。行政・ボランティア・家族など多くのご支援があって30周年を迎えることが出来ました。

30周年記念行事に記念誌も発行することに決まり、編集長の鎌田毅さん東谷美智子さんが、写真集ともいえる立派な30周年記念誌を仕上げてくださいました。

いかがですか、皆さん笑顔で楽しそうにカメラに納まっています。でも残念なことに亡くなられた方もいらっしゃると思います。その方々のことを忘れることなく、今後も皆さんと共に「友の会」の発展のために活動を続けて参りたいと思っています。感謝をもって「30周年記念誌」をお届けいたします。

この和子さんの文章は、40周年記念総会に話した私の挨拶にも引用させていただきました。今後も、50周年記念事業があるときにも引用される文章だと思っています。

もう一つ、紹介しましょう。

南病院にはMG患者が入ってきたと思ったら、手術して目がぱっちり開く人、全身型はリハビリもして、力をつけてさっさと退院していくのだと、長い長い慢性経過に悩まされる、入院中のkさんの話です。本当にその昔は（30年もの）、胸腺摘出手術は流行してなくて、私もひたすらマイテラゼとメスチノンのみで頼っていたものです。

治療法が進んだ、今発病した人は得だな、なんて思ってしまいます。

新会員が増えなくても、良くなって退会する人がいても喜ばしいことなのです。

終生現役で筋金入りのMG患者で頑張りましょう。

平成8年9月発行のわだちに和子さんはこのように書いていました。新会員が増えなくても、良くなって退会する人がいても喜ばしい。

終生現役で筋金入りのMG患者で頑張りましょう。

この言葉を忘れず、私たちはこれからも活動を続けます。

和子さん、お疲れ様でした。ゆっくり休んでください。あなたのことは決して忘れないでしょう。いいえ、忘れません。そして、友の会を見守ってください。

40年と言う長い間、友の会を支えて下さり、本当にありがとうございました。

ご冥福を心よりお祈りします。

中村 待子

支部総会に参加して

丸田勢津子

街路樹も緑こく庭の花々も色取り取り、少々うきうき気分で、2015年度定期総会に出席しました。総会後の皆さんとの交流は軽食を取りながら、発病当時の事を聞き、一人ひとりMGとの戦いがあったと思い、私自身も振り返りました。

また、伊藤たておさんから「障害者総合支援法」制度についての事も聞き、とても勉強になりました。一生付き合っていくMG、その生活を向上する為に必要な制度を知り利用することは大事な事ですね。今回夫も初参加して、「夫婦の間ではわからない病気の辛さが少しわかった」との夫の言葉でした。





入院加療中だった中道和子さんが5月18日亡くなられました。私が友の会に入会と同時に仲良くしていただき、40年のおつきあいでした。

全国総会や旅行も二人で参加して、同室で姉妹のように過ごしていました。いつも明るく楽しい人でした。

体調を崩し友の会に出られなくなってから、何度かお家の方へお邪魔しておしゃべりしながら、大好物の草餅や柏餅等喜んで食べていたことを思い出されます。入院は2年位でしたが、昨年病院へお見舞いした時「誰かわかる？」と聞くと、じっと見ながら「美智子さんだ」と答えてくれました。誤嚥性肺炎を起こすので、口から食べられずに点滴をしていました。お別れに伺いましたが、穏やかな美しいお顔の和子さんでした。ご冥福をお祈りします。

(東谷)

本棚を整理して見つけた昔の手帳や日記。4年程前…スーパーに行っても一周できない。脱力がつらくて泣きながら食事を作ったと書いてある。さらに20数年前…動けない。一日中寝ていた。の繰り返し、続くこと数週間。そうだった。そんな時期もあったなあ。波はあるけれど、今はずいぶん楽になった。ひどく脱力しても数日寝れば、また動くことができる！！大丈夫。がんばれ！と昔の自分に背中を押されたような気分になった。

(仲山)

今年も半年が過ぎようとしています。近頃は日が長く、ちょっと徳をした気分になります。かといって何をするでもなく、1日があっとい

う間に過ぎて行きます。今年は早くから暑くなりました。これからどうなるのか心配です。暑さに負けないよう過ごしたいですね。

(本田)

先週、医大を受診したとき、エクリズマブ治験の説明がありました。最近、体調がすぐれなかったのでグロブリンをしようと思っていたので、新しい治験薬にも興味があったため、思いきって参加することにしました。

(鬼木)

昨年からは滝野すずらん公園に行くのが私のマイブームです。現在4エリアに分かれていて、エリアごとでクイズラリーやスタンプラリーをして、それを歩いて周り全てできるとキャラクターのシールやカードがもらえます。更に全エリア制覇するとキャラクターのバッジがもらえます。どれも種類が多いのでつい集めたくなくなってしまいます。駐車場代はどこもかかりますが、溪流ゾーンだけは入場料無料なので新緑散歩を兼ねて皆さんも是非行ってみて下さい。

(下広)

ライラック祭りも終わり、初夏の訪れを感じる季節になりましたね。只今、新たな治療を受けています。花巻病院でも行われている早期治療法です。パルス（大量ステロイド再投与）とグロブリン（免疫抑制剤投与）を組み合わせた[抱き合わせ療法]です。パルスは通常1000mgを3日間投与しますが、個人の体調や体力その他諸々を考慮していただいて、今回は初めてですので、500mgを隔日で投与する方法でした。経過観察の後、いつもの5日間免疫抑制剤治療を行います。長期ステロイドからの脱却は成功するのか、乞うご期待！！

*治療法には個人差があります。適切な治療については主治医とご相談くださいませ。

(森口)

α α

あなたの会費は平成 年度まで納入されています。

年会費は4500円です。

郵便振替口座 02770-6-19712

全国筋無力症友の会北海道支部

銀行振り込みの場合

北洋銀行札幌西支店 普通預金 店番号 304 口座番号 0715876

全国筋無力症友の会北海道支部

α α

HSK わだち

昭和48年1月13日第三種郵便物認可

発行 平成27年6月10日(毎月10日発行) HSK通巻番号 519号

編集人〒064-8506 札幌市中央区南4条西10丁目北海道難病センター内

発行番号 175号

全国筋無力症友の会北海道支部

Tel 011(512)3233 Fax 011(512)4807

発行人

北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK) 定価 100円